

豊明市教育委員会 会議録
「定例会 令和2年1月」

令和2年1月17日（金）午後2時00分豊明市教育委員会1月定例会は、豊明市役所新館3階教育委員会室に招集された。

1 応招委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	伏 屋 一 幸	教育長職務代理者	：	市 野 光 信
委 員	：	久 留 島 夕 紀	委 員	：	長 山 加 代 子
委 員	：	青 木 睦			

2 不応招委員は、次のとおりである。

な し

3 出席委員は、次のとおりである。

教 育 長	：	伏 屋 一 幸	教育長職務代理者	：	市 野 光 信
委 員	：	久 留 島 夕 紀	委 員	：	長 山 加 代 子
委 員	：	青 木 睦			

4 欠席委員は次のとおりである。

な し

5 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	：	小 串 真 美	学校支援室長	：	坂 井 朋 弘
学 校 教 育 課 長	：	高 木 安 司	生涯学習課長	：	深 草 広 治
図 書 館 長	：	濱 島 早 代 江			

6 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（課長補佐）北 川 宜 志、事務局（主査）箕 浦 佳 代

本会事件は、次のとおりである。

議案

（1）二村台小学校の校章について

報告

（1）令和元年豊明市議会12月定例会月議会一般質問について

（2）令和2年豊明市成人式開催状況について

（3）豊明市スポーツ賞表彰授与式について

（4）教育委員会後援申請について

その他

（1）令和元年度小中学校卒業式の日程について

開会宣言 午後2時00分、1月定例会教育委員会の開催を宣言。

会議録承認 12月定例会（12月18日分）の会議録について、承認する旨確認。

教育長 それでは私の方から、報告事項を申し上げます。新しい年が始まりました。今年も委員の皆様にとってよい年になることをお祈りしています。

さて、いよいよ来年の4月に二村台小学校が開校いたします。今年は、開校を円滑に進めるための準備、開校後の学習の進め方や学校行事などについて、双峰小学校、唐竹小学校の4役を中心に最終調整を行っていく年になります。また、夏休みには双峰小学校の校舎大規模改修工事もはじまり、ハード、ソフトの両面において最終的な段階に入って参ります。委員の皆様にも逐次状況を説明しながら、開校に向け進めて参りますので、ご協力、ご支援のほどお願いします。

それでは諸報告に入ります。12月20日に市議会12月定例会月議会が終了し、すべての議案が可決されました。教育委員会関係では、小・中学校の音楽室、配膳室に設置するエアコン、三崎小学校放課後子ども教室の移転、大狭間湿地観察橋の修理に関する費用などの補正予算が承認されました。

21日には、男女共同参画フェスタに出席した後、MOA美術館主催の児童書写・絵画コンクールの表彰式に出席して参りました。

24日には、毎年行われております星城高校が主催する全国招待高校女子ソフトボール大会の開会式があり、出席して参りました。今回は勅使グラウンドが改修工事中のため、星城高校ソフトボール場にて開会式が行われました。星城高校は、惜しくも準優勝でした。

26日には、総合教育会議が開催され、市長との意見交換をしていただきました。委員の皆様、当日はお疲れ様でした。

年が改まりまして1月9日に、委員とともに愛日地方教育事務協議会に出席して参りました。そこでは、来年度の双峰小学校、唐竹小学校の終業式などの儀式等の日程が、本市の学校統合の準備のため、変更になることを伝えさせていただきました。

翌日10日には、愛知県都市教育長協議会総会及び研修会があり、出席いたしました。研修会のお話の一つに、校長任用試験、教頭任用試験の合格率が例年に比べ高いことが挙げられています。また、教員の不祥事防止についても、各市教委でしっかり取り組んでほしい旨依頼がありました。

11日には、消防出初式、12日には成人式が挙行されました。委員の皆様にもお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございました。新成人の皆様の式典運営のおかげもあり、大変穏やかで素晴らしい式典になったと思います。

14日にはスポーツ賞表彰審査委員会が開催され、個人、団体に優秀な成績を収められた方として、17人の選手の皆様と1団体を選出しました。来月22日に表彰式を行いますので、委員の皆様におかれましては、ご出席の程よろしく願いいたします。私からの報告は以上です。

今の報告につきまして、ご意見ご質問等がありますか。（なし）

議事の経過

教育長 それでは議事に入ります。議案（1）「二村台小学校の校章について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 （資料第1号に沿って説明を行う。）

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。（なし）では、議案（1）「二村台小学校の校章について」承認される方は、挙手をお願いします。（全員挙手）それでは、承認といたします。議案は以上となりますので、報告に移ります。報告（1）「令和元年豊明市議会12月定例会月議会一般質問について」ご説明をお願いします。

教育部長 （資料第2号に沿って説明を行う。）

教育長 今回の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。

委員 市制50周年記念事業で、「コンサートのようなもの」とありますが、何か検討されているのでしょうか。

教育部長 市制50周年記念事業は、市長の思いで市民団体から要望があったものを行うということで、その要望の1つがコンサートになります。企画政策課で検討することになっております。

委員 文化財保護について「年々増える資料」とありますが、増え続ける資料は、どのようなものがありますか。

生涯学習課長 古いテレビや民具など、文化財資料として寄贈を受けたものがあります。

委員 昨日の「令和元年度市町村教育委員研究協議会」の研修で、「教育の情報化について」の分科会に参加して参りました。そこではGIGAスクール構想の話があり、校内通信ネットワークの整備と義務教育段階の児童生徒1人1台端末の整備について話がありました。ネットワークと端末の整備は、どのようになっているのでしょうか。

教育部長 昨日参加した「学校ICT活用フォーラム」の研修で、校内通信ネットワークの交付金は、令和2年度までが対象であると文部科学省が仰っておりました。端末の交付金については、令和5年度までになりますので、端末については、その期間で整備をしていこうと考えております。また、リース期間中のタブレットがありますので、リース期間が終わるのに合わせて整備しようと考えております。課題は、タブレットを使って子どもたちに教える先生方の教育になります。淡路市では、先生方の研修に注力し成功されているので、豊明市も先生方の教育に合わせて、ハード面の整備を計画的に行っていかななくてはならないと思います。

委員 地方財政措置の交付税で3人に1台の整備、残りの3人に2台の整備を交付金でという話を聞いております。

教育部長 今までの地方財政措置の交付税で、3人に1台の整備をし、残り3分の2を交付金で行うという国の考え方になります。豊明市は3人に1台まで到達していないため、まずはそこを目指し、先生方の研修やタブレットの寿命などを考えながら整備をしていこうと思います。フォーラムでは、小学校4年生から5年生の子どもたちにタブレットを渡して、そのまま中学校に持って進学し、卒業時に返却をしていただくという事例の紹介がありましたので、参考にしながら行っていききたいと思います。

委員 交付金をもらう機会をなくすと、次は無いと聞いております。

教育長 校内通信ネットワークの補助対象は、令和2年度までと言われております。昨日開催された「愛知地区教育長・指導主事打ち合わせ会」では、豊明市は補正予算で対応するとお伝えし、日進市、長久手市、東郷町では方針が決まっていないと仰っております。最終的に児童生徒1人1台まで目指すのか議論の余地があるという話がありました。いきなり端末を導入するのではなく、まずは先生のスキルを上げなくてはならないという話があります。費用においても、タブレットは約5万円で購入できますが、ソフト等を導入すると20万円ほどかかります。豊明市の子ども5,300人全員に導入すると、10億6,000万円かかります。また5年でタブレットを更新すると、毎年2億円強の財政支出が必要になります。本市においても1人1台タブレットが必要か、教育委員会でも協議いただきたいと思っております。来年度、全教室分のタブレットを導入して、

まずは先生方に勉強をしていただき、令和3年度から子どもに対するタブレットの供給を増やしていこうと考えております。愛知県は、タブレットの配布が遅れており、全国平均は約5人に1台、愛知県は約7人に1台、豊明市は約11人に1台という状況です。まず、豊明市で6人に1台を目指し、実施計画にも上げておりますが、かなりの費用が必要になります。先ほど教育部長が述べたように、子ども個人にタブレットを渡して、卒業するまで持っていただくというやり方も1つの方法かと思えます。相当な財政支出が見込まれるので、地方財政措置の交付税で3分の1に到達していない自治体が多い状況です。

教育部長 タブレット全体を管理するのは、とても費用がかかります。タブレットに管理ツールを入れ、管理側からアプリケーションをインストールすると、子どもたちのタブレットもインストールされ使用可能になる仕組みが必須だと仰っております。そのような仕組みを導入すると20万円近くかかります。また、子どもたちがタブレットを落とすこともありますので、プロテクターを付けると、さらに費用がかかると思われます。

教育長 運用時に、タブレットが故障するかもしれません。すぐに修理しないとその子どもが使用できなくなるので、修理できる方を配置しなくてははいけません。また、盗難防止対策や充電の設備、先生方には知識を増やしていただくなど、様々な課題があると思われます。学校教育課、支援室で話をしていき、またICT推進委員会で検討していただき、まとめて行きたいと思えます。

教育部長 導入後、ICT機器がうまくスタートアップしないという課題もあります。

委員 「協同の学び」のように、最初は先生方も戸惑うかもしれませんが、徐々にスキルアップしていけばいいと思えます。

教育長 課題を踏まえ、タブレットをどの程度配置していくか考えなくてははいけないと思えます。

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) 続きまして、報告(2)「令和2年豊明市成人式開催状況について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 (資料第3号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) 続きまして、報告(3)「豊明市スポーツ賞表彰授与式について」ご説明をお願いします。

生涯学習課長 (資料第4号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) 今年、壇上で何かを行ってもらうという話がありましたが、どのようになりましたか。

生涯学習課長 先日、審査委員会を開催したときに、委員から「折角の機会なので、何かの種目を披露していただくことはできないか」という提案がありました。例年、個人表彰の1位の方、世界大会に出場された方に代表として出ていただいておりますが、今のところ、スポーツ協会で公認されているスポーツチャンバラが対象になります。スポーツチャンバラを知ってもらう機会になるのではないかと、現在打診をしているところになります。ご了解いただければ、表彰の中で機会を設けたいと思えます。

教育長 毎年、スポーツチャンバラの国際大会で優秀な成績を収めているので、審査委員会から「何人ぐらいの競技人口ですか」と問われます。競技としてマイナーではありますが、様々な国

の人が参加しており、決して少数の競技者で行っているわけではありません。

生涯学習課長 代表として、スポーツチャンバラの世界大会で3位の方、エアロビクスの世界大会で4位の方、世界大会に出場された方の順で声をかけさせていただく予定です。

教育長 その他にご質問等よろしいでしょうか。(なし) 続きまして、報告(4)「教育委員会後援申請について」ご説明をお願いします。

生涯学習課長 (資料第5号に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) では、報告は以上となりますので、その他に移ります。その他(1)「令和元年度小中学校卒業式の日程について」説明をお願いします。

学校教育課長 (その他資料①に沿って説明を行う。)

教育長 今の説明につきまして、ご意見ご質問等ありますか。(なし) では、続きまして次回の教育委員会の日程についてお願いします。

学校教育課長 (2月17日(月)午前10時00分から2月定例教育委員会を、3月19日(木)午前11時00分から3月定例教育委員会を開催する旨提出。)

教育長 他にございますか。

委員 1月16日に開催されました「令和元年度市町村教育委員研究協議会」の研修に参加して参りました。「初等中等教育施策の動向について」では、増え続ける外国籍の子どもたちへの対応や先生方の働き方改革について話がありました。「教育の情報化について」の分科会では、GIGAスクール構想の授業説明がありました。自治体向けの説明会と同じ内容で、平均の台数が、愛知県は全国最低で、今回の補正予算で整備しないとチャンスがないので、これを機会に進めてくださいという話でした。グループディスカッションでは、GIGAスクール構想に向けた補正予算は、整備を目的としているが、メンテナンスの予算はつくのかという質問がありました。また、今回の補正予算は、校内通信ネットワークの補正予算で、外に繋ぐネットワークについては、各自治体で行ってくださいという話もありました。まだまだ課題があると感じましたが、国の動きもあるので、ある程度進めていかなくてはいけないと感じています。他には、PISA調査で読解力が下がったという話がありましたが、中国ではスマホを机の横に置いておき、子どもたちに読書をさせることで、読解力が上がったというニュースがありました。パソコンを整備することも大事ですが、読書をさせることも考えていかなくてはいけないという話もありました。

委員 私は、「地域と学校の連携・協働について」という分科会に参加して参りました。市内全小学校にコミュニティースクールがある自治体では、土日のイベントに多くの保護者の方々が参加していること、また、若い世代の方は頼まれれば、喜んで協力してくれる自治体があるという話がありました。コミュニティースクールについて、学校が地域の人に何かをしてもらいたいという意識が強いため、学校が地域のために何を行えるか考える必要があるのではないかという意見もありました。また、小さな自治体だと自然に地域と連携しているので、コミュニティースクールが必要なく、それを作ることによってかえって忙しくなるということ、また学校の木の伐採や花壇の管理を今までうまくやっていたところが、先生方の働き方改革を行うことによって、地域に任せてしまい、信頼関係が崩れてしまうという話がありました。他には、大規模校ではプラス、小規模校ではマイナスになってしまい、自治体で統一することができないという話もありました。

委員 私は、「いじめ対策・不登校支援・児童虐待対応について」という分科会に参加して参りました。ホームページでも公開されているのですが、全国の不登校数が小学生だと144人に1人、中学生だと27人に1人で、子どもの数が減っているにも関わらず、6年連続増加という状況についてお話がありました。そのような状況下でも、福井県だけが不登校数が減っているという話がありました。子どもが1日目休んだ時から、2日目、3日目と休まないよう独特な基準を設けて行っているとのこと。岡山県と広島県もそのような取り組みをしているとのこと。昨年の3月定例教育委員会で、調布市の不登校特例校「はしうち教室」の取り組みについて話をしておりますが、2018年4月から取り組んでおりましたので、その委員の方々に現状についてお伺いしました。現状は、正規の先生の確保が難しく、非常勤の先生を探さなくてはいけないという状況、また不登校特例校が出来たことによって、行き渋りができた子どもはその学校に行けばいいという意識が現場に生まれているのかもしれないということを仰っていました。支援センターに行けない子どものために、不登校特例校を作ったのですが、そこにも行けない子どもはどうすればよいのか新たな課題が発生し、様々な問題を抱えていますと仰っていました。

教育長 ありがとうございます。その他にはよろしいでしょうか。(なし)

閉会宣言 午後3時15分、1月定例教育委員会の閉会を宣言。